

『人民の歴史学』 目録

第1号 (1967年5月) — 第50号 (1977年3月)

第1号 (1967年5月)

委員会 「東京歴史科学研究会」創立総会
委員会 歴史科学協議会 うまる！
— 帝国主義的歴史観に対決し科学的歴史学の創造をめざして —

第2号 (1967年7月)

委員会 「歴史学入門講座」成功す
橋本哲哉 新反動史学の特徴は何か

第3号 (1967年7月)

犬丸義一 近代日本における人民闘争発展の歴史的諸段階

第4号 (1968年1月)

鈴木正幸 人民闘争史研究と沖縄問題
和田春樹 ロシア共産党(ボ) 第一回協議会採択「コミンテルン執行委員会拡大総会に関連するコミンテルンとロシア共産党(ボ)の任務に関するテーゼ」(抜粋)
委員会 臨時大会・総会記事／大会参加記

第5号 (1968年4月)

山田忠雄 直接的革命情勢としての一八六六年
学生部会 「紀元節」復活反対・「明治百年祭」反対の都内各大学での集会

第6号 (1968年4月)

栄沢幸二 帝国主義思想研究の一視角
委員会 第二回大会・総会記事／大会参加記

第7号 (1968年8月)

深谷克己 歴史における階級意識

第8号 (1968年9月)

《特集 「東京百年祭」に反対し、革新都政をそだてよう》
委員会 「東京百年祭」に反対し、革新都政をそだてよう

第9号 (1968年12月)

《特集 第二回歴史科学協議会大会の成果と批判》
吉村武彦 河音能平報告「前近代の人民闘争」批判
小川信雄 山田忠雄報告「幕末維新期の人民闘争」批判
平田哲男 江口圭一報告「大恐慌期の人民闘争」批判

第10号 (1969年4月)

委員会 第四回大会・総会を成功させ、あらたな人民的歴史学運動の道をきりひらこう
〈第四回大会準備ペーパー〉
依田喜家 明治維新と土地革命
平田哲男 六〇年安保闘争史の歴史的意義
米田裕正 歴史学の有効性とは何か

第11号 (1969年8月)

委員会 一大学一歴科研運動を推進し、人民的研究者に成長しよう
第四回大会・総会記事
委員会 朝鮮大学との交流

第12号 (1969年10月)

赤沢史朗 独占資本と三島由紀夫のイデオロギー
大学歴科研紹介 (早稲田大学)

第13号 (1969年12月)

熊岡洋一 「アジア的生産様式」について

第14号 (1970年3月)

川村善二郎 Nさんへの手紙—研究会「歴史学と部落問題」へのつけたし—
栃木利夫 雑感・研究者「ノラ」はいかに起ちあがるか—A・F反対運動の残したもの—

第15号 (1970年4月)

委員会 七〇年度大会・総会をむかえるにあたって
山本隆志 日本前近代史研究の一、二の論点
人民闘争史部会 自由民権運動における民権と国権
高木 潔 人民闘争におけるイデオロギー闘争の役割と位置について
—七〇年代イデオロギー闘争・思想史研究の課題—

第16号 (1970年6月)

《特集 第五回大会報告》

現代史部会 一九六〇年代の労働運動と統一戦線
深谷克己 幕藩制国家の成立と人民闘争
中村尚美 自由民権運動における民権と国権
松田 博 七〇年代イデオロギー闘争の課題
委員会 第五回大会・総会記事／大会参加記

第17号 (1970年12月)

思想史部会 六〇年代イデオロギー闘争史への一視点
露島幸一 労働者にとって歴史学とは何か

第18号(1971年1月)

《特集 東京の歴史と人民》

事務局 『東京の歴史と人民』(パンフ) 発行について
敗戦後の東京の歴史と人民

第19号(1971年3月)

東京の歴史と人民のたたかい(戦前)

第20号(1971年4月)

委員会 第六回大会をむかえるにあたって
米田佐代子 婦人解放史としての「女性史」について

第21号(1971年6月)

近代史部会 自由民権期の人民闘争
委員会 第六回総会/大会記事

第22号(1971年7月)

横関 至 関東大震災と朝鮮差別政策

第23号(1971年11月)

犬丸義一 歴史科学の戦線における統一戦線の形成とその問題点に関する一考察
—民科歴史部会の結成—
馬淵貞利 【書評】姜在彦『近代朝鮮の思想』

第24号(1972年3月)

吉田悟郎 沖縄認識と歴史教育
中村尚美 東歴研の五年間をふりかえって
村尾ルミ 「帝国主義と統一戦線」の講座に参加して

第25号(1972年4月)

松井 巖 東京都の階級分析について

第26号(1972年6月)

中西 功 中国社会主義史の諸問題
長沼宗昭 新たな世界史意識を生み出すために
委員会 総会記事

第27号(1972年8月)

矢部洋三 戦後民主主義革命期の農民運動
婦人運動史部会 サンフランシスコ体制下の婦人運動
新村 恭・古厩忠夫 中国における労働者階級の形成過程

第28号(1972年11月)

松尾章一 人民闘争史の方法をめぐって—神田文人氏の批判に答えて—
宮原武夫 歴教協の沖縄大会に参加して

第29号(1973年2月)

深谷克己 【書評】山口啓二・佐々木潤之介『幕藩体制』

第30号(1973年4月)

山田国光 新潟県自由民権運動の醸成と村落支配者層の役割—民主主義の観点から—

第31号(1973年4月)

委員会 第七回大会をむかえるにあたって
吉村武彦 階級形成と奴隷制に関する二三の問題

第32号(1973年6月)

《特集 第七回大会・総会》

委員会 史学科改革の現状と課題
第七回大会・総会記事

第33号(1973年9月)

赤沢史朗・北河賢三・高木 潔
思想史の方法について—六〇年代「民衆思想史」の方法的検討—
現代史部会の再編成にあたって

第34号(1973年11月)

山田敬男 レーニン「移行形態論」研究にむけての準備ノート

第35号(1974年3月)

松尾章一 最近の天皇制・天皇論とわれわれの視角
歴科研紹介(早稲田大学歴史科学研究会)

第36号(1974年4月)

委員会 第八回大会をむかえるにあたって
斉藤 純 階級闘争史の方法論的深化のために
吉武佳一郎 「幕藩制国家論」に関する覚書

第37号(1974年7月)

《特集 第八回大会・総会》

柴山敏雄 片山内閣期の政治情勢
落合延孝 百姓一揆研究会報告
委員会 第八回総会記事／「東歴研についてのアンケート」の回収結果報告

第38号 (1974年10月)

加藤文三 何のために歴史学を学ぶか
歴科研紹介 (法政大学歴史科学研究会)

第39号 (1974年12月)

斉藤 純 幕藩制解体過程における階級闘争と領主権力—天保期の歴史的 position づけをめぐる—
歴科研紹介 (立教大学歴史科学研究会)

第40号 (1975年1月)

深谷克己 幕藩制と天皇

第41号 (1975年4月)

横関 至 「東京の歴史」研究の課題について
落合延孝 【紹介】『豊島区史 地図編』(上・下)

第42号 (1975年10月)

《特集 第九回大会・総会》

宮地正人 朝幕関係からみた幕藩制国家の特質
深谷克己 「『幕藩制と天皇』について」を読んで
委員会 第九回総会・大会記事

第43号 (1975年11月)

山口啓二 自治体史編さんの課題
佐藤政憲 人民闘争と社会経済的基盤—秩父事件の場合—
成田龍一 【書評】宮地正人『日露戦後政治史の研究—帝国主義形成期の都市と農村—』

第44号 (1976年2月)

家永三郎 教科書裁判と歴史学
小林文美 「東京の部落史」研究の現状と課題

第45号(1976年4月)

《特集 歴史学と科学運動の課題》

甘粕 健 文化財保存運動と地域史の課題

佐藤治郎 国分寺と古代の農民—見学集会に参加して

婦人研究者問題小委員会

東歴研に参加している婦人研究者の研究条件に関するアンケートと座談会の報告

鈴木しづ子 柳瀬正夢との二度の出会い

第46号(1976年4月)

《特集 歴史における天皇制の問題をめぐって》

北爪真佐夫 中世的国家編成と天皇(その一)

青木哲夫 遠山茂樹氏の講演「天皇制と日本帝国主義」によせて

赤沢史朗 戦後初期の元号論議

峰岸純夫 【紹介】『豊島区史』資料編I・『越谷市史』3資料1

小川信雄 【紹介】『渋谷区議会史』

中村尚美 日本歴史学協会の一年間の動き

第47号(1976年8月)

奈倉哲三 封建的支配の国家的「民族的」統一と「朝廷」(一)

梅田欽治 柳瀬正夢と一九三〇年代—「柳瀬正夢展」に協力して—

第48号(1976年11月)

奈倉哲三 封建的支配の国家的「民族的」統一と「朝廷」(二)

古関彰一 米国の占領文書管見記

峰岸純夫 【紹介】『大月市史』史料編に寄せて

委員会 東歴研一〇周年総括にむけて／一〇周年記念事業・その総括運動について

赤沢史朗 「天皇在位五〇年」問題

第49号(1977年2月)

- 和田春樹 韓国における民衆の抵抗とわれわれ
及川正彦 学歴協の活動報告
植木 勝 我々の五〇年と
菊池克美 教科書検定訴訟を支援する十一月集会

第50号(1977年3月)

《特集 創立一〇周年『人民の歴史学』五〇号記念》

- 中村尚美 東京歴科研一〇年の歩み
菊池勇夫 「東京の歴史」研究会の最近の活動について